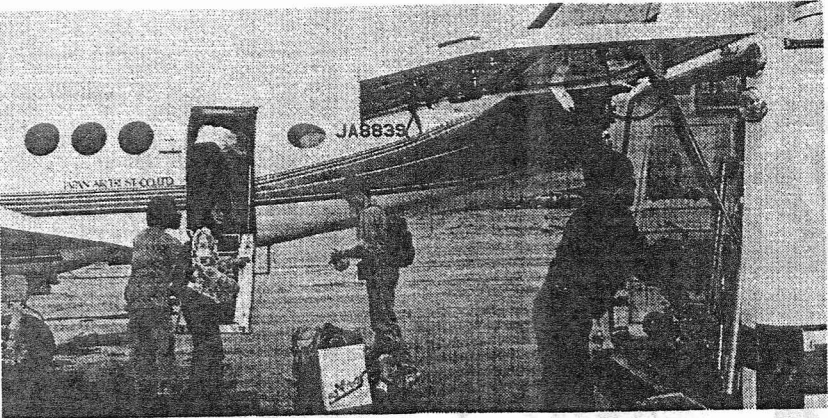


サハリン北部地震 被災者救え!

ロシア・サハリン州北部で起きた大地震で、医療ボランティア団体のアジア医師連絡協議会（AMDA、本部・岡山市榴津）は救急医療チームの派遣を決め、二十九日、岡山空港から第一陣が出発した。一行は三十日昼にも、サハリン入りする予定。



サハリンの被災者救援に向け、医薬品を軽飛行機に積み込むAMDAMエンバー11岡山空港

AMDA第1陣 現地へ

医師ら2人が 岡山空港出発

派遣した医師は、アフリカ多数の住民がれきの下敷きのルワンダ難民救済活動に当たった鎌田裕十朗医師（左）と次城真取手市（右）をリーダーに、AMDA事務局の三宅和久医師（左）と岡山市万成西町（右）の三人。このうち岡山からは、三宅医師と事務局員一人が抗生物質や消毒薬などの医薬品三百七十五箱を積み、チャーターした軽飛行機で二十九日正午ごろ、岡山空港から北海道・函館空港へ出発。同空港で鎌田医師ら二人と合流、医師三人は三十日朝、稚内空港から別のチャーター機で州都ユツノサハリンスク（向かう予定）。

派遣した医師は、アフリカ多数の住民がれきの下敷きのルワンダ難民救済活動に当たった鎌田裕十朗医師（左）と次城真取手市（右）をリーダーに、AMDA事務局の三宅和久医師（左）と岡山市万成西町（右）の三人。このうち岡山からは、三宅医師と事務局員一人が抗生物質や消毒薬などの医薬品三百七十五箱を積み、チャーターした軽飛行機で二十九日正午ごろ、岡山空港から北海道・函館空港へ出発。同空港で鎌田医師ら二人と合流、医師三人は三十日朝、稚内空港から別のチャーター機で州都ユツノサハリンスク（向かう予定）。

「現地の状況は分からないが、より早く出発したい。できれば、現地の行政や医師らと連携しながら医療活動にあたりたい」と話している。

AMDAは今週中に、第二陣の派遣を予定している。

岡山からの軽飛行機は、AMDAが、阪神大震災で救済医療活動を行った際に薬品などを岡山から空輸した実績を生かし、岡山県航空協会（会長・古賀隆治岡山大学教授）の協力でチャーターした。

三宅医師は「被災地では、